

## CONTENTS

スタディシリーズ年度更新のポイント  
教師のための個人情報保護（入門）  
Study21 個別学習用大解剖+提示用 15 単元へ  
Super Interactive School 中学校版 V2.5  
CDで配布 スタディノートの学習成果

シャープシステムプロダクト  
篠崎武彦（信州大学大学院）  
東大英数理教室  
進学会システム  
シャープシステムプロダクト

## 新年度の準備は万全ですか —スタディシリーズ年度更新のポイント—

スタディサーバ for Web、スタディノートを新年度からスムーズに活用いただくためには、新入生や新しい学年・クラスへの対応を行っていただく必要があります。新年度になりましたら、年度更新処理として、新年度の名簿の作成、前年度のデータのバックアップや削除を行います。

### スタディノートの年度更新

- ①現在登録されている名簿の内容を確認します。
- ②新入学者の名簿用ファイルを準備します。
- ③新年度に切り替えて、名簿ファイルを読み込み、名簿登録を行います。
- ④転入生の確認を行います。
- ⑤必要に応じて名簿のカナ・漢字を置き換えます。
- ⑥必要に応じてノートディスクを作成します。

### インタラクティブ・スタディの 年度更新

- ①全てのデータをバックアップします。
- ②必要な学習履歴をダウンロードして保存します。
- ③前年度の学習を削除します。
- ④指導者名簿を先生の異動にあわせて更新します。
- ⑤新入学者の名簿用ファイルを準備します。
- ⑥新入学者の名簿用ファイルを読み込み、学習者マスター名簿を更新します。
- ⑦旧クラスを削除し、新クラスを作成します。

#### 【操作方法】

スタディシリーズホームページ (<http://www.study.gr.jp/>) のスタディシリーズライブラリ (下図) 参照。新しい名簿ファイルの準備、転入生の確認など、実際の運用に役立つ情報が満載です。

#### ■ さらに活用いただくためのマニュアル

#### ■ インタラクティブスタディ 利用開始までの流れ

#### ■ 年度更新マニュアル

タイトル	対象バージョン	HTML / PDF	作成
スタディサーバ for Web Ver.2.5 年度更新マニュアル	Ver.2.5	<a href="#">HTML</a> <a href="#">PDF</a>	2006/6
スタディノート Ver.6.5 年度更新マニュアル	Ver.6.5	<a href="#">HTML</a> <a href="#">PDF</a>	2006/6

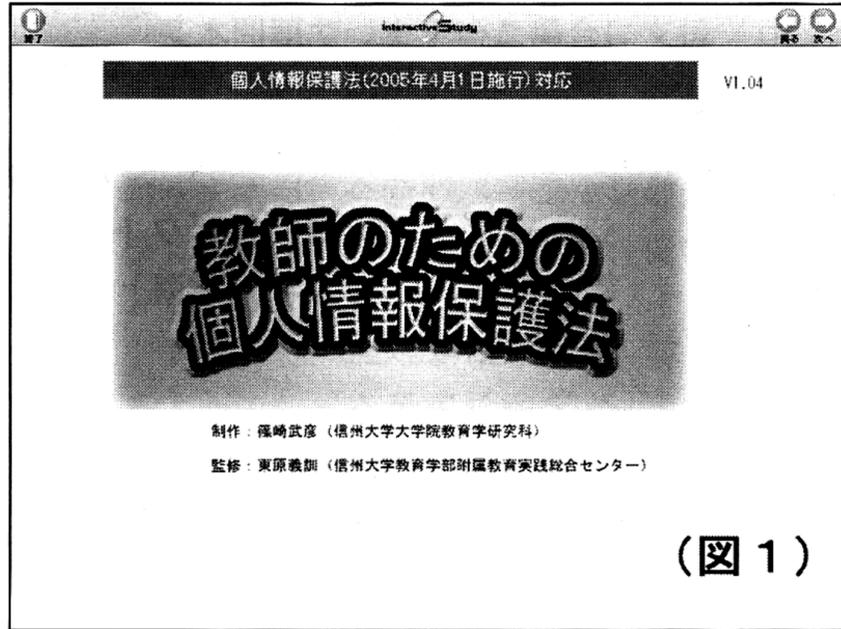
※スタディシリーズライブラリの利用にはID、パスワードが必要です。SSPまでお問い合わせください。

インタラクティブ  
スタディ教材紹介

# 教師のための個人情報保護法（入門）

篠崎武彦（信州大学大学院教育学研究科）

教育関係者から個人情報漏洩したとのニュース記事を見かけることが多くなりました。その対策として長野県教育委員会派遣の信州大学大学院生の篠崎先生により、個人情報の保護について学べるインタラクティブ・スタディ教材が開発されました。すでに約600名もの小中学校の先生方がこの教材で研修を受けられました。また、教員をめざす上越教育大学の学生諸君もe-Learningの授業で体験しました。



(図1)

## 1 個人情報保護法

- ・個人情報保護法が施行されたのは、何年でしょう？
- ・個人情報とはどのような情報をさすかご存知ですか？
- ・世の中に同じイニシャルの人は何人もいますが、イニシャルは個人情報と言えますか？

分かっていそうで、よく分からない個人情報（保護法）です。しかも、なんとなく身構えてしまい、理解に苦労しそうなイメージがあります。しかし、世の中は確実に個人情報保護に対して敏感になっており、先日の報道によると個人情報を流出させた会社に一人当たり3万5千円の損害賠償を命じる判決が出ました。一度は勉強しなくてはならない個人情報保護法。「でも、理解するのは時間がかかりそうだし大変だな・・・」

そんな先生方に向けたコースを作りました。それがこれから紹介する「教師のための個人情報保護法（入門）」（図1）です。

## 2 本コースの概略

本コースは先生方にむけて、個人情報保護法のポイントを分かりやすく解説したものです。解説を聞いただけでは、日々の校務に生かせるか分からないので、事例に基づいた問題を解きながら理解していきます。コースの最後には、どの程度身についたかを診断するための認定試験もついています。

コースの流れはおおよそ右図のブロックの流れで進みます。

## A 導入

「コースの進め方」や「このコースでつけることができる力」を学習者に伝える画面群です。

このコースではFLASHを何ヶ所か使っているのですが、FLASHが動作するパソコンであるか確認できるようになっています。

## B 事前問題1～5

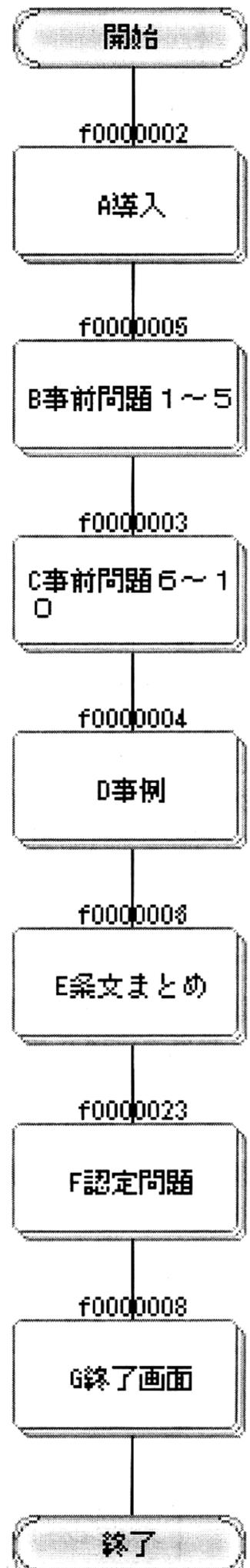
これまでの、自分の行動を見直す5つの質問に答えます。

たとえば、「文部科学省が示している連絡網作成に関するガイドラインを読んだことがありますか」などの質問が出てきます。個人情報保護法施行後、学級の緊急連絡網の配布が個人情報漏えいにつながることで作成しなくなった学校がありました。このような「個人情報保護への過剰反応」を防ぐため、文部科学省が示した大変大事なガイドラインです。知らない先生も結構いるようですが、読んだことがなくても、大丈夫です。コースの中で紹介されていますし、解説も出てきます。

## C 事前問題6～10

現在の知識を診断するための問題が全部で5問あります。

たとえば、「個人情報に死亡した人の情報は含まれるか」などの質問が出ます。ここでは、答えが正しかったか間違いだったかを学習者に知らせますが、解説はしません。間違えても、次のブロックでくわしく解説するので心配せず進むことができます。



D 事例

このコースで学習を行う一番重要なブロックです。教師を対象にしたコースですので事例は全て学校に関係のあることです。中には、実際に起こった事件を基にした場面設定や新聞記事なども出てきます(図2)。

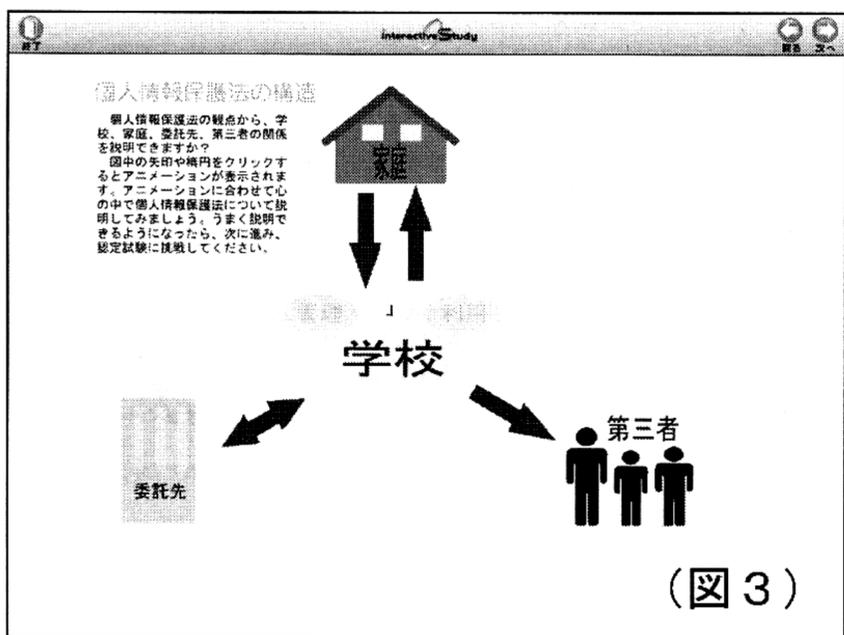


(図2)

一つの事例に対して個人情報保護法の条文が一つ出てくるので、どのような場面でどの条文が対応するかが分かります。また、条文に続いて「一口メモ」が示されます。短い文章でポイントを表しているため条文は覚えられなくても、このメモを覚えておくだけで実際の校務に生かせるように工夫されています。全部で10の事例により、個人情報保護法の基礎を学ぶことができます。

E 条文のまとめ

Dブロックで事例を基に学習した個人情報保護法を図3のように構造化してまとめてあります。



(図3)

クリックすることで個人情報の流れを視覚的に捉えることができます。ここでは、FLASHによるアニメーションが活用されています。

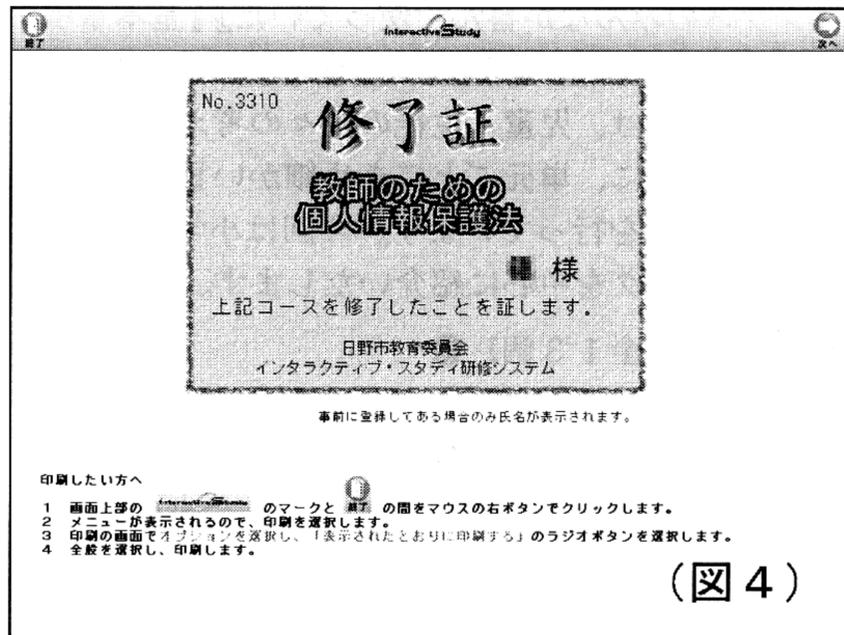
F 認定試験

「分かったつもり」になっていないか、理解が十分でなかったのはどこかを10問の問題で診断しま

す。これにより、このコースでついた力を診断できます。

G 終了画面

修了者には修了証が発行されます。



(図4)

3 おわりに

すでに本コースをやっていた先生方の場合、所要時間はだいたい20分~50分くらいです。約30分で個人情報保護法の基礎が学べ、翌日からの校務に生かすことができます。丁寧にやりたい人はじっくり学習し、短期集中型の人は一気に学習することができます。

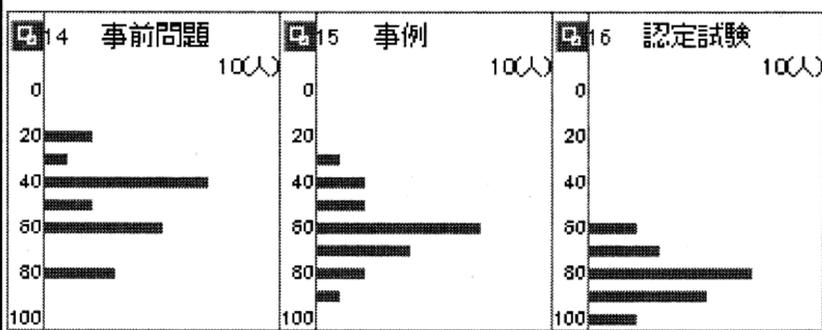
このコースの体験を希望される教育委員会や学校は下記アドレスまでご連絡ください。

連絡先メールアドレス

e06a103@shinshu-u.ac.jp(信州大学大学院 篠崎)

【この教材の効果】

下のグラフは、ある研修クラス(学生+現職教員)の成績分布です。事前問題ブロックから、事例、認定問題とコースが進むにつれて、見事に点数が向上しています。また、点数のばらつきがだんだん減少していることも分かります。良いCAI教材では、点数は向上し、点数の分散は小さくなります。認定問題で80点未満が数人いますから、さらに教材は改訂される予定です(東原)。



●このグラフは教師用の評価情報画面の一部です。目標ごとに得点をグラフ化したもので、縦軸が得点、横軸が人数です。縦軸は下が100点なので、グラフが下方になるほど成績が良いことを表します。

# Study21 個別学習用 大解剖！ ここがスゴイ！

『クラスみんなが喜んで使っていた』『基本事項が分かっている子ども達も飽きずに取り組んでいた』『単元末テストでクラス全員が100点をとった』といったお声をいただいている「Study21 個別学習用」教材の最大の特徴は、児童・生徒の個々の考え方に応じた「診断・補充」が自動的に行われることです。それを実現するために、単元ごとにきめ細かい目標を設定し、また、多くの学校現場で試行問題に取り組んでいただき誤答分析を行っています。今回は小学校4年生用の「面積」をとりあげ、本教材の特徴である「診断・補充」ブロックを中心に紹介いたします。

### ●目標設定（全13個）●

診断部分では、問題ごとに目標が設定されています。目標は、その単元で学ばせたい内容を、できるだけ具体的な計算や問題の型で分類したものになっています。

目 標	
1	方眼紙で示された長方形の面積を求める
2	方眼紙で示された三角形の面積を求める
3	方眼紙で示された一般図形の面積を求める
4	長方形の面積を求める
5	正方形の面積を求める
6	面積と1辺の長さから、もう1辺の長さを求める
7	複合図形の面積を求める（2分割）
8	複合図形の面積を求める（3分割）
9	穴が空いた長方形の面積を求める
10	m <sup>2</sup> とcm <sup>2</sup> の関係を理解する
11	cmとmが混在する場合の面積を求める
12	km <sup>2</sup> とm <sup>2</sup> の関係を理解する
13	身近なもののおよその面積がわかる

### ●誤答分析（全7個）●

実際に多くみられた間違いを応答カテゴリーとして分類し、メッセージや補充コースの内容に反映させています。

応答カテゴリー	
1	複合図形の面積を求めるとき、分割した長方形1個分だけの面積を求めてしまう
2	複合図形の面積を求めるとき、全体の面積だけ求めてしまう
3	単位変換のある面積を求めるとき、求める面積の単位を間違えてしまう
4	単位変換のある面積を求めるとき、求める面積の位(0の数)を間違えてしまう
5	1km <sup>2</sup> が1m <sup>2</sup> の100倍だと考えてしまう
6	1km <sup>2</sup> が1m <sup>2</sup> の1000倍だと考えてしまう
7	1km <sup>2</sup> が1m <sup>2</sup> の10000倍だと考えてしまう

#### ◆補充例◆ 目標4の場合（図1）

- ・分かっていないところを確認していきます（図2）
- ・1ステップずつ子どもに考えさせます（図3）
- ・公式の意味を再確認します（図4）
- ・ポイントをまとめます（図5）

このあと、類題で理解の確認も行います。

（次ページ下段へ⇒）

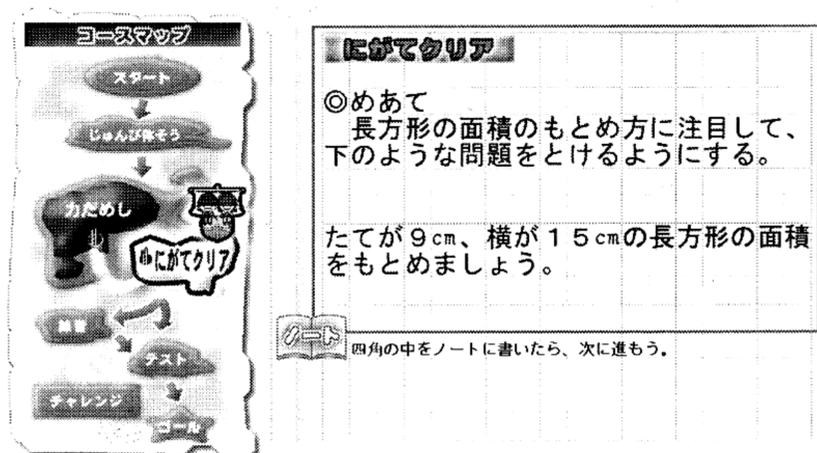


図1

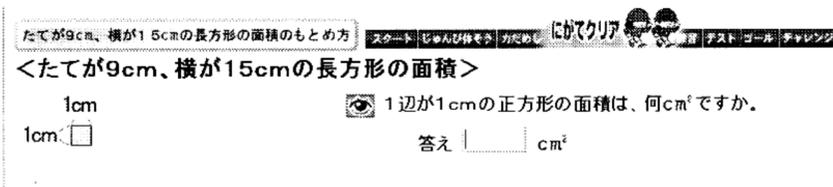


図2

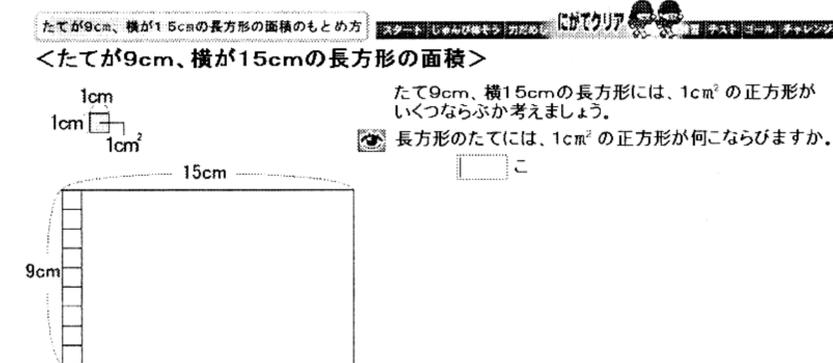


図3

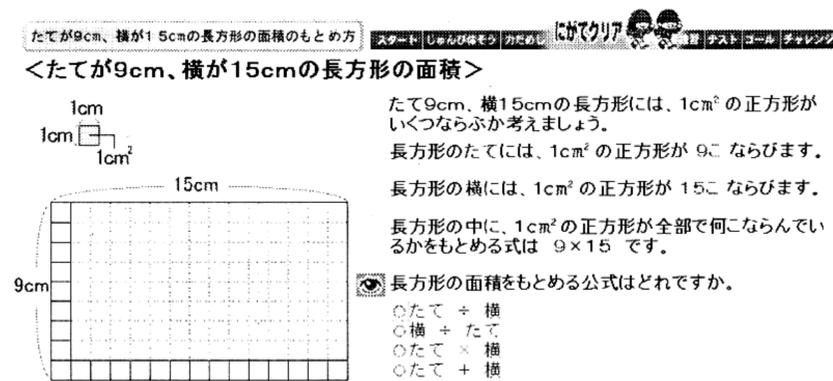


図4

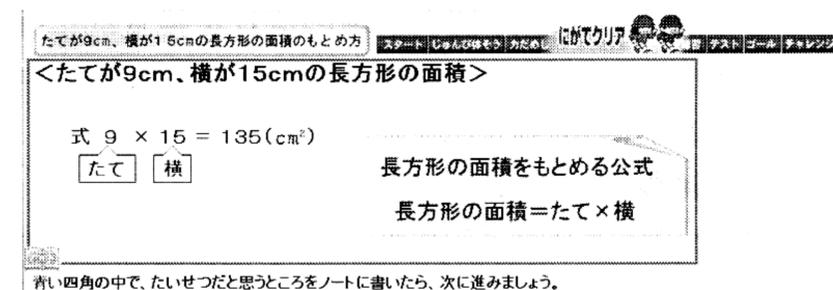


図5



# Super Interactive School 中学校版 V2.5 今春リリース予定!

進学会システムでは『Super Interactive School (以下 SIS) 小学校版 V2.5』に引き続き『SIS 中学校版 V2.5』を現在作成中です。今回のバージョンアップでは、様々な点について配慮して作成しておりますが、今回はその中でも支援ブロックについてご紹介いたします。

図1をご覧ください。導入に引き続き基本問題を解いてもらいます。基本問題でつまづいた場合に支援ブロックに分岐しつまづきに応じて支援が開始されます。

支援ブロックは、予想される生徒の誤答に応じて内容を作成しておりますが、今回のバージョンの大きな特徴は、全国の中学校で採択されている主要な教科書の演習問題全てを解析した上で、問題を選択しているところにあります。

既に小学校版 V2.5 につきましては、弊社ホームページで体験できるようになっておりますが、中学校版も順次体験版をアップする予定です。ぜひご体験ください。

◆進学会システムホームページ URL

<http://www.shingakukai.co.jp/soft/>

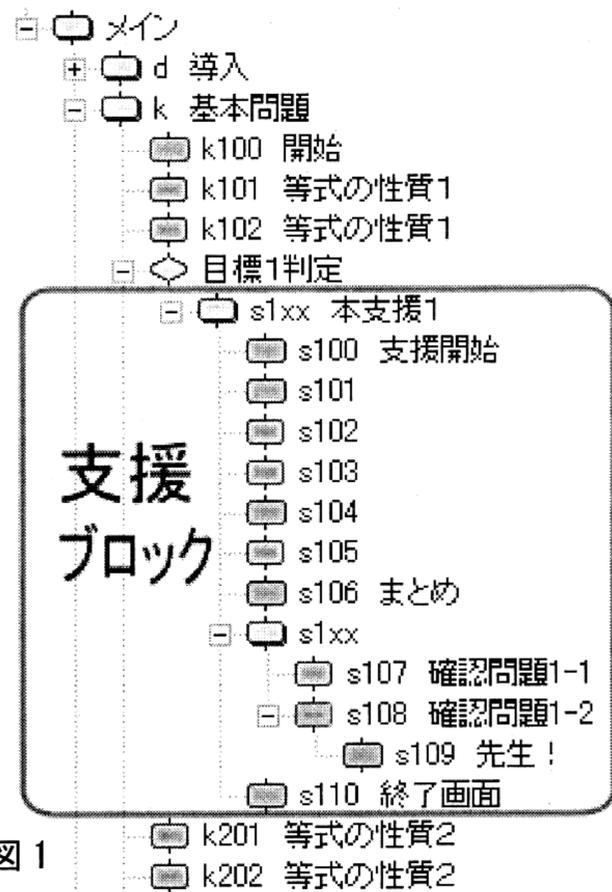


図1

# CDで配布 スタディノートの学習成果

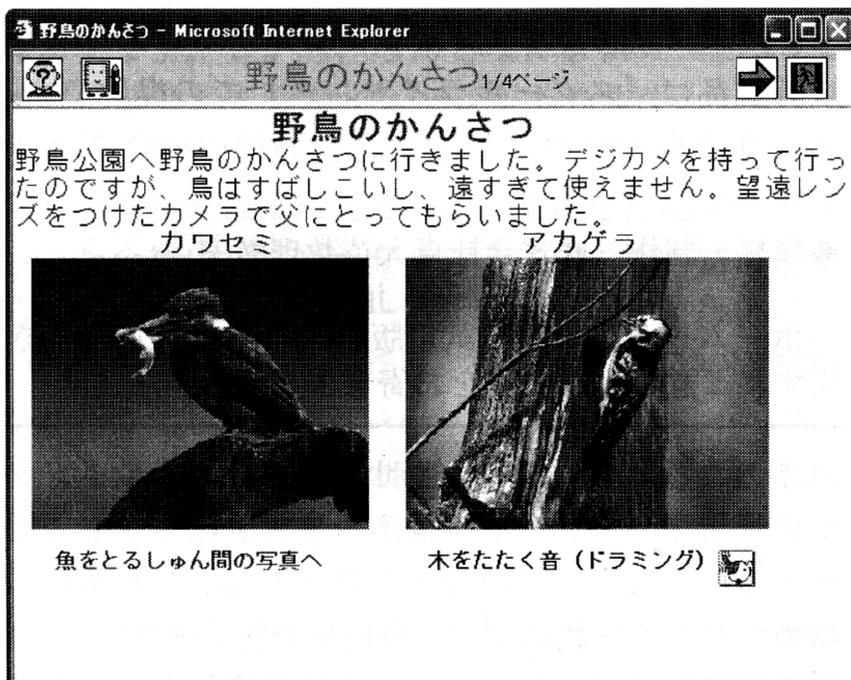
スタディノートを使った活動の成果をCDに入れて配布する機能をご紹介します。

■スタディノートの掲示板とデータベースは、ブラウザ (Internet Explorer6.0以上) で見ることが

きる形式 (html 形式) に変換することができます。この機能を使えば、スタディノートを使った学習活動の成果をホームページとして公開できることはもちろん、子どもたちのこの1年間、あるいは入学から卒業までの活動の成果を同様に交換して、CDなどに収録することができます。

■作成したCDは子どもたちに配布して、家庭に持ち帰ってブラウザで見ることができるので、子どもたちのこれまでの活動の成果を家族で閲覧することができます。また、学習ポートフォリオとして、これまでに学んだことの振り返りや、これから学んでいきたいことについて考えるなど、いろいろな形で活用いただくことができます。

■掲示板とデータベースを交換するための具体的な操作方法については、スタディノート Ver. 7 ユーザーズマニュアルの 155 ページ「ホームページ変換」(スタディノート Ver. 6.5 では、245 ページ「ホームページ変換」) をご覧ください。 SSPより



変換したデータをブラウザで表示

【編集後記】 2月19日に文部科学省から、「教員のICT活用指導力のチェックリスト」が発表され、3月の調査から活用されるそうです。次年度の研修計画や授業計画の立案に、大いに活用しましょう。 東原

発行人: 21世紀教育研究所  
Educational Research Institute for the 21st Century

代表 中山和彦

〒305-0045

茨城県つくば市梅園 2-33-6

電話 029-850-3321

FAX 029-850-3330

Email econews@eri21.or.jp

URL http://www.eri21.or.jp